



刊夕日一十二月九

常新新聞
 發行所 磐城平町三丁目
 電話 三三〇番
 印刷所 磐城平町三丁目
 電話 三三〇番

議會政治の改善 (一)
 政界通人 常盤 論 壇

政治の目的を一言にして盡せば善政を布くと云ふことである、而して東西の歴史に於て善政の行はれた場合は君主獨裁政治又は貴族專制政治の時代に於ては未だ立憲政治の下に於ては未だ善政を謳はれたるものがない、然も君主獨裁及び貴族專制の政治は必ずしも善政を意味するものではなく却却暴君も出れば無道なる貴族もあつたのである然るに世の中が段々と進むにつれて人民の智識が發達し政治

方面に於てもデモクラシーの時代が出現することゝなつたこれは自然の成り行きで君主獨裁又は貴族專制の政治に對する不滿若しくはそれに刺戟せられた結果といふよりも寧ろ各人の自覺に基くものであつて人民の爲めに人民が政治を行ふこと云ふことは何の方面から見ても誠に可なるのみならず同時に自然の趨勢として當然甘受せねばならぬ事柄である即ち君主獨裁にせよ貴族專制にせよ苟くも政治を行ふ以上は其の根本は民意に立脚すべきものたるや論なき所である然も今日の議會政治の成績は未だ十分に



加藤營業所
 平白銀町電話三三番

柳町 家
 白銀町 家
 櫻町 家
 賣地 七圓五十錢
 賣地 九十八圓
 賣地 舊城跡二ノ丸、本丸
 五丁目表通り

實質本位の家
 平吉家
 田村具家
 町木部
 通店部
 番二五三話電

カフエースラン
 電話一四五番

物指器陳
 店器器
 目一町平
 番五〇四話電

勉 迅 懇
 強 速 切
 ! ! !

外 科 内 科
 産 婦 人 科
 花 柳 病 科

金成醫院
 平町鎌田町
 金成 忠 義
 電話三五八番

粹な江戸形一染物と洗張

何時も大好評
 第拾壹回福引賣出し!!! 御運次第で
 百圓の品も五十圓

五三二一
 等 等 等 等
 三割引 二割引 一割引
 五分引 三分引
 一組に付き千本の割
 時は今御急ぎに御光來を願ひます

良品廉賣
 中野吳服店
 磐城平町三丁目(電六十七番)

黄金神社
 塩釜三宮の船の金華山巨船

△塩釜	午前六時四十分	金華山	午後九時四十分
△金華山	午後九時四十分	鹽釜	午後二時三十分
△金華山	午後四時三十分	鹽釜	午後十一時
△女川	午前十一時	金華山	午後二時
△石巻	午前十一時	金華山	午後二時
△壺釜	午後二時	金華山	午後二時
△石巻	午後二時	金華山	午後二時

○石巻廻り自動車汽船賃共金參圓

百深物店
 平町古鍛冶町
 本店 東京麴町七ノ廿

モトール
 電氣機械器具各種材料販賣
 電燈電力工事設計並ニ請負
 製作ハ日立製作所

秋風が立つて参りました
 夜具のお手入は今です!! 皆様の御便宜をはかり

布團縞。綿の特賣
 いたします

○本紡布團縞その外新銘
 仙、秩父、八端等の新製品は澤山取揃へてござい
 ます

各品は親切に價は勉強
丸又久野商店
 平町三丁目

和洋銅鐵 金物問屋
 磐城セメント會社特約店
 釜屋商店
 磐城平町五丁目電話一三九番

公周旋業
 電話 七〇三番
 新設
滑川敏之補
 平町新田町

香坂知事の轉任に當り

最後にの申さん

今朝同盟會の幹部出縣

▽意氣込が鋭い

既報愛媛縣に轉任して近、赴任の途に着く筈である香坂知事に對し最後の一談判を試みんと大瀧發電所反對同盟會の幹部

鈴木長三郎、大原長太郎、馬目武之助、丹野榮三郎、千葉彦治、阿部政右工門、三森虎雄、緑川喜三郎の諸氏は本日午前六時半、驛發中郡線に依つて町會議員の代表委員たる井上茂作、青沼鋒太郎、鷹崎貞衛、大森勇の四氏と共に、出縣の途に着いたが是れより先き伏見町長は都合に依り福島市に於て一行を待ち受くべく又町議代表の一人松崎菊三郎氏は目下在京中の爲の福島にて一行に落ち合ふ豫定にて今度香坂知事へも申すも最後であるとの故を以つて意氣込が仲々にするごい

常磐炭狀況

昨今の相場が低い

六月より八月に亘る三ヶ月間從來曾てない不況を告げた常磐各炭礦は九月に入つてから需要が喚起され滞貨貯炭十數萬噸に達したものが昨今幾分宛減少されてゐるが相場は依然低く磐城の標準炭が噸當り十二圓以下で粉炭の如きは三圓乃至五圓に過ぎず、磐城、入山の如き一流會社にあつても下半年は減配を免れないと

不良水を飲み

チブス二名

平町古鍛冶町武藤鐵工所以西の三十數戸の家では從來までは飲用水不便のため谷間より湧出する水を用ひてゐたがこの程同町二の二番地から相前後して緑川春吉佐藤義雄の二名がチブスに罹つたので専門家を聘し調査したる處飲用水の不純によるものと判明したので十八日區長神谷玄佐雄氏外三十名連署して伏見町長宛水道検査布設の陳情をなした

平驛工兵通過

去る廿日午後十一時四十分平驛を陸軍工兵學校生徒が百廿四名北海道より千葉に向ふ途次通過したと

入佛式法要

廿日から七日間

石城郡大浦村字仁井田の最勝院は東都芝増上寺六世の僧祐天正人の郷地に建ち正人が目黒祐天寺に寂するに及び茶毘の後古根を分けて同寺に葬り

石碑の中

に納められてゐるのは世の知る所同寺では廿日廿六廿七日間正人の入佛血脈を

磐城梨出荷

栽培家が聯合

石城郡平窪村、赤井村、下小川村の梨樹栽培家は聯合して磐城梨の聲價を昂ぐべく優良品の製産に勉めつゝあることは既報の如くであるが本年は特に優良梨生産多額なるためこれが販路につきまよりに協議中のごとく去る十七日縣農會の販賣主任若槻技師を聘し販賣方法販路等につき指導をうけいよ／＼東京、大阪、青森、北海道方面に一定の荷造りを爲し個數を定めて磐城梨の商標を付し出荷することになつたがなほ出荷希望者

出場選手

明日午前九時

若松市に開催の縣下聯合青年團體育競技大會に出場する石城郡選手は過日の豫選で左記に決定水野團長引率明二十二日午前九時五十分發列車で出發する

- △百米佐藤隆九(澤渡)△四百米鈴木喜太郎(小名)
- △一千五百米星野紀一(夏井)△一萬米片寄半三(郎平)△走高はね花澤輝一(平)△走幅はね齊藤弘(植田)△砲丸投佐藤隆九

執行する廿、廿一の兩日は入佛式法要齋供養廿三日は大施餓鬼に開扉中は磐城布教團並に各宗寺院布教の應援演教 もある尙同寺は浄土宗名越派に屬し護念山浄土寺とも云ひ天正十七年長十上人の草創に係り元祿元年に祐天の建てた廣大なる常念佛堂などもあ

故意に人口隠トクか

内郷村の不審な激減

第二回國勢調査はいよいよ二十日餘の後に迫つたが石城郡内郷村では人口の異動が激變し大正九年の第一回國勢調査當時は二萬百七十三人であつたものが

同十三年

には一萬五千六百七十六人、十三年度には一萬五千九百三十六人になつてゐる、即ち三四年の内に五六千人の激減を示したわけであるが、如何に激動する炭坑地であると

信を掛け

ない調査である疑惑の目を向けた郡當局では樋口統計主任をして、更に嚴密に調査を行



家庭欄

赤小豆の効能

赤小豆は第一に大小便の通じをよくする點に於ては非常な効能があります、小豆と昆布とを一緒に煮てその

平外十一校の

オリソビツク

來月中旬頃催さる！石城郡教育會第三區(平第一、第二、好間尋常、同尋

り地方稀の巨利であつたが明治卅五年

火災の爲に烏有に歸した夫れも數年前からの計畫で此程落成したる本堂

其他著々舊觀に復さんとし居る法要の七日間は種々の餘興もある筈なれば賑ふであらう

常高等、赤井第一、第二、内郷村高坂、内町、宮、御麻、飯野、平窪の十一校)學童オリソビツク大會は來る十月中旬頃磐中グラウン

に開催する筈であるが、該催しは本部教育會に於ける最初の試みとして一般父兄からも非常に期待されてゐる、出場選手は尋五以上の男女生にして選手選出方は各學年からトラック三名フイルド二名を選出せしめ一名にて二種目まで出演することができ、目下各校では代表者を擧げ猛烈なる練習を試みてゐる

泥虫被害少し

石城郡川前村大字川前字外の内の稲田は泥虫發生して稲は殆んど枯死せる状態であつたが出穂後の状況に依ると比較的被害が少くない模様である

愛ゴ神社祭典 石城郡川前村社愛岩神社にては廿四日祭典を執行し餘興として青年等の假裝行列ある由

す。又乳出の不良な方は、小豆をよく煮て頂くと乳の出る事妙です。腎臟其他の疾患で水氣の多い方は鯉か鮒と一緒に煮て食べますと浮腫は忽ち退きます。脹滿や吐氣等を治し胃腸を丈夫にし、又犬にかまれた時は赤小豆をかんで附けますと腸が早く治ります

兎の耳

列車の窓から子供を投げ、十八日午後七時二十一分頃上野發金澤行急行列車が東北本線赤羽、川口間荒川鐵橋に差違ると、乗客下谷區豐住町二十七小淺進清妻きよ(三)が長男裕行(三)を列車の窓から二十尺以上の荒川下に目見けて投出したので夫が驚き大宮驛で下車し鐵橋下を搜索したるも發見されず十九日朝六時半に至り赤羽地内の鐵橋下草叢に墜落してゐたのを發見した所が不思議にも裕行は少しの怪我もなく生きつた原因は家庭に深い事情があつて精神に異常を呈したものでらしい

鐵北の惡路

區民改修陳情

石城郡平町鐵道以北は排水路の不完全なため雨後の交通頗る困難の有様であつたが最近はその上自動車の運行頻繁にして一層の惡路となり十八日の大雨後にあつては泥濘膝を没し小學生の登校も出來得なかつた状態

江名町元助役

河野氏に記念

石城郡江名町元助役河野嘉藏氏は目下江名濱漁業組合主事として活動して居るが氏の功績を多として青年消防幹部有志並に町内有志發起となり同氏に記念品を贈るべく計畫中である

川前眞綿講習

石城郡川前村にては去る十九日から向村小學校にて眞綿講習會を開いたが會員は廿數名である